



各 位

平成 23 年 11 月 9 日

会 社 名 市光工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 オードバディ アリ
(コード番号 7244 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 井 上 誠 一 郎
TEL (0463) 96-2094

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び

通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

平成23年8月3日に公表いたしました平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成24年3月期通期の業績予想について修正しますのでお知らせいたします。また、特別損失の計上につきまして、併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 業績予想値と実績値の差異

平成 24 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	38,900	△150	210	△2,200	△22 円 94 銭
実績値 (B)	39,062	342	678	△1,883	△19 円 64 銭
差額 (B - A)	162	492	468	316	—
増減率 (%)	0.4	—	223.2	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	47,629	1,104	1,307	740	7 円 72 銭

(2) 業績予想値の修正

平成 24 年 3 月期通期 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	82,500	1,800	2,400	△400	△4 円 17 銭
今回修正予想 (B)	87,400	2,500	3,000	270	2 円 82 銭
増減額 (B - A)	4,900	700	600	670	—
増減率 (%)	5.9	38.9	25.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	92,547	3,015	3,943	615	6 円 42 銭

2. 個別業績予想の修正

(1) 業績予想値と実績値の差異

平成24年3月期第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	30,400	△410	△80	△1,800	△18円77銭
実績値（B）	30,809	33	645	△1,190	△12円42銭
差額（B－A）	409	443	725	609	－
増減率（％）	1.3	－	－	－	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成23年3月期第2四半期）	37,822	407	1,024	805	8円40銭

(2) 業績予想値の修正

平成24年3月期通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	64,100	500	900	△900	△9円38銭
今回修正予想（B）	68,500	1,000	1,800	160	1円67銭
増減額（B－A）	4,400	500	900	1,060	－
増減率（％）	6.9	100.0	100.0	－	－
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	72,698	1,278	2,580	13	0円14銭

修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきまして、前半は東日本大震災によるサプライチェーンの寸断等の影響を受け、大幅な減産となりましたが、後半に入り生産の回復が予想以上に進んだことから、売上高が増加いたしました。また、利益面につきまして、原価低減活動等合理化による固定費の削減効果により、営業利益、経常利益が増加し、四半期純損失が減少いたしました。

通期業績予想につきましては、震災からの復興が進み、自動車生産の回復が当初予想を上回ると見込まれることから、平成23年8月3日に公表した通期業績予想を修正いたします。しかしながら、円高の長期化、欧州債務問題、米国の景気減速、タイにおける洪水の影響等、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと思われるため、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2. 特別損失の計上

(1) 連結子会社の清算に伴う特別損失

平成22年5月21日に「米国合弁会社の解散に関するお知らせ」として公表しました連結子会社イチョウ・ミツバ・インクの解散につきまして、清算したことにより、連結において757百万円、個別において397百万円を子会社清算損として特別損失に計上いたしました。

(2) 製品保証引当金繰入額の発生に伴う特別損失

当社が製造した一部製品のリコール対策費用につきまして、連結において723百万円、個別において678百万円を製品保証引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。

(3) 退職給付制度の移行に伴う特別損失

当社の適格年金制度について確定拠出年金制度及び確定給付年金制度へ移行することに伴い、連結、個別において587百万円を退職給付制度終了損として特別損失に計上いたしました。

なお、これらの特別損失は、上記の業績予想の修正に織り込んでおります。

以 上